

き 民 幸

This is a black and white halftone photograph, likely from a newspaper or magazine, depicting a scene of destruction. The image shows a row of traditional buildings with dark, curved tiled roofs. In the immediate foreground, there is a significant amount of rubble and debris, suggesting a recent disaster like an earthquake. A person, appearing small in the frame, stands near the left side of the buildings, providing a sense of scale to the destruction. The overall tone is somber and captures a moment of aftermath.

警視廳に護送

**平地区署は警視厅からの手配で二
十五日赤井村高萩森灰炎少年(A)
を自殺容疑で逮捕二十六日豊岡
を警視厅へ移送した**

Aは昨年十二月未央原丸の内竹内
工務店に勤務中同僚のオーバーな
ど八点(二万円相当)を盗んで逃
走したもの

**ヒロポンに
ついて講演
あす成人學校**

平市公食館では二十五日から成人
学校を開いていたが二十七日夜六
時より同町新旅館

長町花新立

小名浜新町長立花秀吉 氏(56)は二十五日午後五時より同町新旅館
で初の記念懇親会を行ひ「一般大衆のフトコロ具合に心からさせ私
の信念に向ひ進んでゆきたい、一月に一回ぐらいは公民館が講堂に町民の方々の御参加を得て事業の計画並びに事業の経過報告を行うなどして町民の声を町議会に反映せしめ世論政治をもつてゆきたい」と挨拶したのも記

仲町も家屋解體

平市長崎町では国道の拡張工事に
着手したが、仲町でも二十五日か
ら始まつた。平市役所前松谷グリ
ーンング店ではこの家を撤去する
で検討中で難航を極めているなか

で新川町に移転する、仲町は部屋解体した(写真は解
つた仲町)

**記者團と
三月まで市生**

湯本町行		初會見て一悶着	の通り
答 近々中止をうめる考え方だ、特に助役には土木行政に手觸があ		り過力のある者をもつてきたい	る事が、いわゆる「政治的」な立場からくるもの
問 教育費についてはどうか		教育費についてはどうか	ひひき二十九年度予算編成ならびに事業計画などについて協議する
答 實に信念のある教育予算の編成にあたっては異論のないと		教育費についてはどうか	東京方面の保健機関を視察したがその発表会を二十七日午後二時半から婦女施設丘会館を開く
湯本町で幾多の批判を受け		学校視察報告會	求したが、いずれもじとねられた
後援會結成		湯本町行	湯本町公民館圖書部会は二十七日
料三百円を徴集し公民館主催で湯	高坂小の父兄	内郷町高坂小の学区では父兄たち	ひひき二十九年度予算編成ならびに事業計画などについて協議する
本中に開設したもの。生徒三千八名中町内から通學しているもの	が築堤の二十五日同校私設後援會	が築堤の二十五日同校私設後援會	東京方面の保健機関を視察したがその発表会を二十七日午後二時半から婦女施設丘会館を開く
がわざかに十五名で他町村からの通学者が多い現状があり、湯本一町に入	を徹底し教育の振興を図ることに	を徹底し教育の振興を図ることに	求したが、いずれもじとねられた
中の教師が授業を行ってきたため	なった、役員は全員幹事會、副	なった、役員は全員幹事會、副	なった、役員は全員幹事會、副

明治三年(庚午)二月十八日の火、同十五年(壬午)同廿七年甲午)同年九年(丙午)二月正七年(戊午)昭和五年(庚午)同十七年(壬午)など平市の大火が記録に残っている。▼今は平馬場は昔から火事多かった。正月以来ボヤが頻発、幸い、大きな火災はないがこれから春かけて火災時期に入つて来る。▼年は火が早いといふのは筆者も含めて、大体の感覚であるかも知れないが、然しながら撃げたように火事を出してしまって火事を出さないようにした。いふのだ。全国の火災統計によるときを越して数と焼ける数が殆んど同じだというのだ。そうである、これまで何時になつたら年始煙が絶されるか判らない。▼泥棒は持つだけしか盗まないが火事は根こん抜き損害をもめる、これより恐くないものはない。

お買上金三〇〇圓毎に福引券進呈	福引景品付 舊歲末年始 大賣出し
一〇〇毎に補助券一枚	特等 布團一組一本
五等 キヤウメル 又は鑄錠一斗	二等 砂糖一俵 二本 又は蠶袋十枚
四等 ベケツ大型ニコ三〇〇本	三等 座布團五枚 二〇本 又は蠶袋十枚
三等 手提又は下駄一足	一月二十五日より一月六日まで 主催 植田商店工・会
二等 三〇〇本 又は蠶袋十枚	碧雲院 離島の際は御多用申達願ひ御金袋下され御 丁重な御用語御香料を頼り御苦志のほど誠に有難うござ いました 是速参上いたし御礼申上ぐべきですが略儀ながら紙上 にて御礼申上げます 昭和二十九年一月二十六日 平市商町七一
一等	猪高小友 姫絹代友人絹代 松狩秋狩 正庄四正郎平巳治茂

仲町も家屋解體

初會見で一悶着		湯本施行
の通り		湯本圖書部會
答 近々中にもうめる考え方だ、特に助役には土木行政に手腕がある		ひときわ十九年度予算編成ならびに事業計画などについて協議する
りの方のある者をもつてきたい		県学校保健院会平支部では先に東京方面の保健院学校を視察したがその説明会を三十七日午後半から婦女閣棲丘会館を開く
問 教育費についてはどうか		正七年(戊午)昭和五年(庚午)
答 實に信頼のある教育予算の編成にあたっては異論のないと		明治三年(庚午)二月十六日の火、同十五年(壬午)同廿七年
教育の民主化をはばむものとして幾多の批判をうけた湯本町の特別		甲午)同卅九年(丙午)二月
青年学級は四月一日から廃止されことになった、これは昨年四月		正七年(戊午)昭和五年(庚午)
予算十万円を計上し高等学校を受験し不合格になつた生徒から授業料三百円を徴集し公良館主催で湯本中に開設したもの。生徒三千八名中町内から通学しているものがわざかに十五名で他町からの通学者が多い現状があり、湯本中の教師が授業を行つたため		同十七年(壬午)など平市の大火灾、同十五年(壬午)同廿七年
事に入得三		甲午)同卅九年(丙午)二月
い 動を行ふ		正七年(戊午)昭和五年(庚午)
ここんどはかる		明治三年(庚午)二月十六日の火、同十五年(壬午)同廿七年
特 別 青 年 學 級 を 廢 止		甲午)同卅九年(丙午)二月
湯本町で幾多の批判を受け		正七年(戊午)昭和五年(庚午)
後援會結成		同十七年(壬午)など平市の大火灾、同十五年(壬午)同廿七年
高坂小の父兄		甲午)同卅九年(丙午)二月
内郷町高坂小の學区では父兄たちが集まり二十五日同校私設後援會を組織し教材の整備、環境衛生		正七年(戊午)昭和五年(庚午)
物見力		同十七年(壬午)など平市の大火灾、同十五年(壬午)同廿七年
陽説からうと馬は特に午年に縁がある		甲午)同卅九年(丙午)二月
である、平市の場合		正七年(戊午)昭和五年(庚午)
馬年は昔から火が早		同十七年(壬午)など平市の大火灾、同十五年(壬午)同廿七年
と傳えられてくる、		甲午)同卅九年(丙午)二月
見物		正七年(戊午)昭和五年(庚午)
陽説からうと馬は特に午年に縁がある		同十七年(壬午)など平市の大火灾、同十五年(壬午)同廿七年
である、平市の場合		甲午)同卅九年(丙午)二月
馬年は昔から火が早		正七年(戊午)昭和五年(庚午)

お買上金三〇〇圓毎に福引券進呈	福引景品付 舊歲末年始 大賣出し
一〇〇毎に補助券一枚	特等 布團一組一本
五等 キヤウメル 又は鑄錠一斗	二等 砂糖一俵 二本 又は蠶袋十枚
四等 ベケツ大型ニコ三〇〇本	三等 座布團五枚 二〇本 又は蠶袋十枚
三等 手提又は下駄一足	一月二十五日より一月六日まで 主催 植田商店工・会
二等 砂糖一俵 二本 又は蠶袋十枚	三〇〇本
一等 砂糖一俵 二本 又は蠶袋十枚	三〇〇本
碧雲院 雄儀の際は御多用中遠慶殿々御会下され御 丁重な御用語御香料を頗る御芳志のほど誠に雄うござ り申した 是速参上いたし御札申上ぐべきですが略儀ながら紙上 にて御札申上げます	五等
昭和二十九年一月二十六日 平市商町七一	四等
猪高小友 姫絹代友人繪代	三等
松松林秋狩四庄正正郎平巳治茂	二等

高級老齢者の勇退勧告

教員の人事方針傳達

氏の唇の衛生《ヒロボン》について
行われるので一般人も多數、聽
講するよう望んでいる、無料、な
お近く「産制の話」も行う予定

高坂小講演會

九名に
侍制度を適用されたもの
による事二千五百発
昨報、国賛本部は特別

待命

応募原稿をみせてから發表したいと発言したため記者會中から「新聞記者を馬鹿にするもの程がある」との意見があり、問題を巡り賛否両論に別れ初会係者多数参列し盛大に行われ南洋各紙へも取扱いがあった。

カネボウ ハボンド
セントタイプ // 一〇〇〇円
群羊 // 八〇〇円

静かなフンイキ
氣分よいお座敷

勇丸遭難者の供養
廿七日 爭光院で丁う

か ころた
問 町議会は何時どろ召集す

会長志賀東一、運営英雄、沖野

幸

利

所
381 1222
民報社

静かなフンイキ
氣分よいお座敷

勇丸遭難

者の供養

会長志賀東一、選勝英雄、沖野
諸氏

幸

